

令和6年度第1回岡谷市地域公共交通活性化協議会 会議録

日 時 令和6年6月26日（水）
午前10時00分～11時00分
場 所 保健センター1階 研修室

【次 第】

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 新規及び交代委員の紹介
4. 協議事項
 - (1) 令和5年度決算報告及び事業報告について 【資料1】
 - (2) シルキーバスの時刻改正等について 【資料2】
 - (3) 地域内フィーダー系統別確保維持計画について 【資料3】
 - (4) 地域間幹線系統別確保維持計画(アルピコ交通岡谷茅野線)について 【資料4】
5. 報告事項
 - (1) 令和5年度シルキーバス及び福祉タクシーの実績について 【資料5】
6. その他
7. 閉会

出席：アルピコ交通株式会社 倉沢委員、ジェイアールバス関東株式会社 宇野委員、アルピコタクシー株式会社 矢島委員、諏訪交通株式会社 山谷委員（代理）、アルピコタクシー株式会社諏訪労働組合 岩田委員、長野県タクシー協会諏訪上伊那支部 小林委員、東日本旅客鉄道株式会社 山口委員、岡谷市福祉有償運送運営協議会 中村委員、岡谷市建設水道部 宮本委員、岡谷警察署 竹内委員、岡谷市区長会 武井委員、岡谷市高齢者クラブ連合会 熊谷委員、岡谷市消費者の会 原委員、岡谷市民代表 浜田委員、国土交通省北陸信越運輸局長野運輸支局 山岸委員、長野県諏訪地域振興局 小山委員、岡谷市産業振興部 木下委員
アルピコ交通株式会社 斉藤茅野営業所長 計18名

欠席：国土交通省関東地方整備局長野国道事務所 小松委員、長野県諏訪建設事務所 中林委員、岡谷商工会議所 山岸委員 計3名

事務局

健康福祉部社会福祉課、企画政策部企画課、産業振興部商業観光課 計7名

<会議録>

【事務局長】

本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日の司会進行をいたします、事務局長の岡谷市商業観光課長の山田勝由紀と申します。よろしくお願いいたします。

会議に先立ち、岡谷市民憲章の唱和をいたします。恐れ入りますが、ご起立いただき、担当が前文を読みますので、「わたくしたちからは」からご唱和をお願いいたします。

次第の裏面に憲章文がございますのでご覧ください。

<市民憲章唱和>

ありがとうございました。ご着席ください。

1. 開 会

【事務局長】

ただいまから、令和6年度第1回岡谷市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。

2. 会長あいさつ

【事務局長】

ここで、本協議会の会長であります、木下産業振興部長よりあいさつを申し上げます。

【会長】

皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、令和6年度第1回岡谷市地域公共交通活性化協議会にご臨席を賜りまして誠にありがとうございます。

昨年度は、委員の皆様とともに岡谷市地域公共交通計画を策定させていただき、本年度4月からこの計画に基づいて、市民の移動を支え、みんなが快適に利用できる、持続可能な地域公共交通の実現に向けて進めているところでございます。

本日は、本協議会の令和5年度の決算及び事業報告やシルキーバスの時刻改正、フィーダー系の国庫補助金申請、地域間幹線系統別確保維持計画についてご協議いただくとともに、令和5年度のシルキーバス及び福祉タクシーの実績についてもご報告させていただく予定となっており、それぞれのお立場からご意見をいただければと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

3. 新規及び交代委員の紹介

【事務局長】

次に、この4月から新たに委員に加わっていただきました委員の皆様、任期中に交代がありました委員の皆様を紹介いたします。お手元にお配りしてあります「委員名簿」をご参照ください。

まず始めに、4月から新たに委員に加わっていただきました方をご紹介します。お名前を呼ばれましたら、その場でご起立願います。

- ・アルピコタクシー株式会社諏訪労働組合 副執行委員長 岩田 恭徳 様
 - ・タクシー協会諏訪上伊那支部 事務局長 小林 茂樹 様
- 以上です。ご着席ください。

次に、交代がありました委員の皆様をご紹介します。お名前を呼ばれましたら、その場でご起立願います。

- ・アルピコ交通株式会社中南信支社茅野営業所 副所長 倉沢 哲也 様
 - ・岡谷市消費者の会 企画部長 原 恵子 様
 - ・岡谷市民代表 岡谷市連合婦人会 会長 浜田 恵美子 様
 - ・諏訪地域振興局 企画振興課長 小山 桂子 様
- ありがとうございました。ご着席ください。

国土交通省関東地方整備局長野国道事務所の副所長 小松 輝男 様、長野県諏訪建設諏訪家事務所の企画幹兼維持管理課長 中林 俊尋 様も交代されておりますが、本日も欠席であります。

本日の会議は、国土交通省関東地方整備局長野国道事務所の小松委員、長野県諏訪建設事務所の中林委員、岡谷商工会議所の山岸委員の3名の方が欠席となっております。

なお、諏訪交通株式会社の山谷恭博委員につきましては山谷剛巳様の代理出席となっております。過半数の委員出席がありますので、規約第7条第2項により会議は成立していることを報告いたします。

4. 協議事項

【事務局長】

それでは、次第の4、協議事項等に入ります。規約第7条により、会長が議長となり進行することとなっております。木下会長、議事進行をお願いいたします。

【会長】

それでは、議事を進めさせていただきます。

- (1) 令和5年度決算報告及び事業報告について、事務局より説明をお願いします。

【事務局（商業観光課）】

<資料1に基づいて説明>

【会長】

続きまして、監査報告を矢島監事よりお願いいたします。

【矢島監事】

監査報告につきまして、5月7日に、令和5年度岡谷市地域公共交通活性化協議会の決算書について、出納簿・関係証拠書類及び預金通帳を監査したところ、適正かつ正確に処理されていたことを認めましたので、ここに報告いたします。

【会長】

ありがとうございました。ただいまの報告につきまして、ご質問等ございますか。

→質問なし

【会長】

ご質問等がなければ、承認いただけるということでよろしいでしょうか。

→異議なし

【会長】

ありがとうございます。令和5年度決算報告及び事業報告について、承認されました。

次に、(2)シルキーバスの時刻改正等について、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

＜資料2に基づいて説明＞

【会長】

ただいまの説明に対してご意見、ご質問等ございますでしょうか。

→質問なし

【会長】

それでは、シルキーバスの時刻改正につきまして、承認いただけるということでよろしいでしょうか。

→異議なし

【会長】

異議がないとのことですので、この議案は承認されました。説明にもありましたとおり、10月1日からの時刻改正に向けて、事務局及び各運行事業者にて国土交通省への届出等、必要な手続きを進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、(3)地域内フィーダー系統確保維持計画について事務局より説明をお願いします。

【事務局】

＜資料 3 に基づいて説明＞

国の地域公共交通確保維持改善事業実施要領において、あらかじめ協議会において包括的な合意が得られていれば、軽微な変更の際は、変更の都度協議会を開催しなくても協議会の議論を経たものとして取り扱うこととしております。今後、確保維持改善計画に軽微な変更が生じた場合、「地域公共交通確保維持改善事業実施要領」に基づき、協議会の議論を経たものとして変更することについても合わせてご承認をお願いします。

【会長】

ただいまの説明に対しまして、ご意見、ご質問はございますか。

【山岸委員】

長野運輸支局の山岸です。1点確認です。地域内フィーダー系統補助金については、今回の令和7年度事業の計画から地域公共交通計画と連動している必要があるように制度が変わりました。資料2ページ「2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果」の(1)事業の目標について、利用者数と収支割合が記載されていますが、一方で地域公共交通計画の71ページには利用者数、収支割合とあわせて公的負担額の記載があります。こちらについて、この資料の計画の中に記載がない理由が何かあれば教えてください。

【事務局】

こちらにつきましては、国から示される記載例に特になかったということで記載をしておりますが、必要であれば記載していきますので、ご指導いただきますようお願いいたします。

【山岸委員】

標準的な指標として記載いただくよう、後ほど個別にご案内いたします。よろしくお願いいたします。

【会長】

ありがとうございました。他にご意見、ご質問ございますか。

【熊谷委員】

高齢者クラブ連合会の熊谷です。資料3ページの「3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体」のなかで、保育園児を対象としたイベント実施という記載があり、これはバスの乗り方教室のことだと認識していますが、高齢者の方にも乗り方の指導をしていただくという話をいま事務局と進めておりますのでそちらにつきましても計画内に記載いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【事務局】

いま日程調整等させていただいておりますので、そちらについても記載させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【会長】

ありがとうございました。

私から1点質問で、昨年度も同じ計画を提出されていると思いますが、国および県からの補助金の実績でいくらだったか教えていただけますか。

【事務局】

令和5年度につきましては、1,876,000円となっております。

【会長】

ありがとうございました。ほかにご質問ございませんでしょうか。

それでは、岡谷市生活交通地域内フィーダー系統確保維持計画につきまして、計画の内容及び軽微な変更について承認するという事でよろしいでしょうか。

→異議なし

【会長】

異議がないとのことですので、承認されました。本日いただいたご意見を含めて変更したうえで、今後、国土交通省へ手続きを行ってまいります。

次に、(4)地域間幹線系統別確保維持計画について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

従来スワンバスの地域間幹線系統別確保維持計画については岡谷市の協議会でもお話をさせていただいておりますが、それと同種の計画となります。

岡谷茅野線の沿線市町である岡谷市、下諏訪町、諏訪市、茅野市の協議会では、これまで岡谷茅野線の本計画については特に協議を実施してこなかったという経過がございます。今般、長野県からの指導により、沿線市町の協議会においてこの計画を県計画に位置づけることについて協議をしていただきたいということでありましたので、今回から協議をお願いするというものでございます。資料の説明につきましてはアルピコ交通株式会社の斉藤茅野営業所長にお願いいたします。

【アルピコ交通(株) 斉藤茅野営業所長】

<資料4に基づいて説明>

【事務局】

岡谷茅野線が減便となる計画となりますが、本日の協議会では、本計画を県計画に位置付けることについてご協議いただくこととなっております。県計画に位置付けることにより、引き続き国や県からの補助金の交付を受けることができることとなりますので、よろしくお願いいたします。

【会長】

ただいまの説明に対しまして、ご意見、ご質問はございますか。

【武井副会長】

副会長の武井でございます。1点ご質問させていただきます。

本件については既に他地区の協議会にて承認されておりますが、今回は乗務員不足による減便ということで、今後乗務員が確保できれば減便を解消できるのか、お伺いします。

【アルピコ交通㈱ 斉藤茅野営業所長】

私が茅野営業所長となった3年前は、在籍する乗務員が56名おりましたが、現在は46名まで減っています。そのような中で、営業所独自の採用イベント等を開催し、数人ではありますが何とか採用に至ったという経緯もございます。しかしそれ以上に離職者が多いという状況です。今後採用が進んだとしても、現在私どもの収益部門である高速バスや貸切バスが運行や受注の制限を行っているという状況ですので、まずは私どもも一般の営利企業というところで、収益性の高い事業に乗務員というリソースを傾注していきたいということが本音でございます。ある程度人員が整った場合、まだ余力があれば復活もあり得るかもしれませんが、現状この岡谷茅野線に関しましては、国および県から地域間幹線の補助金を得てはいるものの、まだ赤字路線です。その赤字補填を沿線4市町の皆様からいただいているという状況ですので、一度減便をしたらこのままいくという流れなのではないかなと思っております。以上です。

【武井副会長】

ありがとうございました。様子はよく理解できます。

私から意見を申し上げたいと思います。まずは、これまで長年の間、アルピコ交通さんにおかれましては、岡谷茅野線の運行により、地域の足を確保していただき誠にありがとうございます。ただいまご説明いただきました岡谷茅野線ですが、岡谷市から茅野市まで4市町を跨ぐ幹線でありまして、地域にとって非常に重要な路線であると認識しております。

今回予定されている減便によりまして、通勤通学客はもとより、交通弱者の皆様への影響は大きいと感じております。しかしながら、市町を跨ぐ路線であることから、各市町による対応策は簡単なものではないと考えております。こうした地域間幹線については、県が主体的に関与し、確実に維持・確保を図っていくことが必要と考えております。本計画を長野県

計画に位置付けることについては、国や県からの補助金の交付を受けるにあたって必要です。本日、諏訪地域振興局の小山課長もご臨席でありますので、この声を県庁にお届けいただくとともに、岡谷市、アルピコ交通さんにおかれては、先ほど申し上げた意見を県に届けていただくこととして、本計画を長野県計画に位置付けることを承認したらどうかと思いますがいかがでしょうか。

【会長】

ご意見ありがとうございます。

本件に関しまして、他にご意見ございますでしょうか。

【小山委員】

長野県諏訪地域振興局の小山です。ご意見ありがとうございます。県計画でも、この地域間幹線は計画に位置付けて国の補助を受けられるように申請していくという流れとなっております。また、赤字路線でありますので、県や沿線市町で一体になって利用促進の方も図っていかねばいけないなとは思っております。また皆様にご協力をお願いできればと思いますのでよろしくお願いします。

【会長】

ありがとうございました。

1点質問ですが、今回この計画は令和9年9月30日までの3年間の計画として協議会から承認を受けるということでしょうか。

【山岸委員】

長野運輸支局の山岸です。令和6年度事業については、3年計画としてくださいというかたちではあったと思いますが、先ほど言った通り制度が変わりまして、令和7年度以降は単年度でもよかった気がいたします。ただ、岡谷茅野線以外の幹線系統の取り扱いはどうしているのか等、他の路線との並びも気にされたほうがよいかと思いますので、別途確認していただければと思います。

【アルピコ交通(株)齊藤茅野営業所長】

3年計画で作成いたしました。弊社の路線として松本地区、長野地区にも諏訪地区同様に地域間幹線があり、本社で一括してまとめている部分もありますので確認いたします。

【会長】

ありがとうございます。

もう1点質問ですが、資料2ページの「5. 費用負担額」の表の見方について、欠損見込額に対して国及び県からそれぞれ約600万円ずつの補助を受ける計画ということでしょうか。

【山岸委員】

長野運輸支局の山岸です。基本的に幹線やフィーダーの補助については、補助対象経費の2分の1を補助金としてお支払いします。ただ幹線の場合は原則通りいかないこともありまして、例えば経常費用があまりにも高く、経常収益が低い場合は、補助対象経費が経常費用の20分の9までと限定されていたりします。そうすると欠損見込額の半分よりもっと少なくなる場合がありますし、或いはそれだけではなくて輸送密度が5人より少ないと、それを調整して補助金が減額されるということがあったりするので、補助対象経費の2分の1は原則ではありますけれども、おそらく原則通りってないのではないかと思います。この表では事業所負担が毎年約1,400万となっていて、国費が入ってもなお事業者さんの負担が発生するという計画になっているということによろしいでしょうか。

【アルピコ交通(株) 斉藤茅野営業所長】

考え方としますと、この事業者負担については今まで沿線4市町から補助をいただいているという考えです。事業者負担と記載されていますが、赤字路線でかなり厳しい状況が続いていましたので、この部分について沿線4市町から補助をいただくと、今後もそういうお願いを引き続きしていくというところは変わらないと思いますので、よろしく願います。

【会長】

ありがとうございました。他に委員の皆様から何かございますか
→質問なし

【会長】

それでは、地域間幹線系統別確保維持計画につきまして、武井副会長からの要望を本市協議会の意見として付し、計画の内容について承認するということによろしいでしょうか。
→異議なし

【会長】

異議がないとのことですので、この議案は承認されました。本計画につきましては、アルピコ交通様から本協議会での意見を付し、県の公共交通活性化協議会へ提出していただきたいと思います。

協議事項は以上となります。

5. 報告事項

【会長】

(1) 令和5年度シルキーバス及び福祉タクシーの実績について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

＜資料５に基づいて説明＞

【会長】

ただいまの説明に対しまして、ご質問はございますか。

→質問なし

【会長】

ありがとうございました。

本日用意しました協議事項、報告事項につきましてはすべて終了いたしました。ご協力ありがとうございました。委員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

司会を事務局にお返しいたします。

6. その他

【事務局長】

慎重なご審議、また、スムーズな議事運営にご協力いただきありがとうございました。それでは、その他として、全体を通じて委員の皆様から何かございますか。

→なし

それでは、事務局から１点連絡事項がございますので、お願いいたします。

【事務局】

事務局から１点お願いいたします。岡谷市地域公共交通計画につきましては、本年度が計画初年度となっております。本日のアルピコ交通様からのお話にもありました通り、公共交通をめぐる環境は大変厳しい状況が続いており、持続可能な地域公共交通を実現するため、利用促進に関しましてより一層ご協力をお願いいたします。

本年４月に、各地区の公民館に岡谷市地域公共交通計画の概要版を配布させていただきましたので、機会がありましたらご近所の方へご紹介ください。また、各区長様には、改めて区長会におきまして計画の周知と利用促進においてお願いをさせていただき、本年９月号の広報おかやに、改正後の時刻表配布に併せて、計画の紹介記事を掲載する予定となっておりますので、ご承知おきください。

7. 閉会

【事務局長】

それでは、以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。ありがとうございました。